

株式会社エムテック (熊本県熊本市東区)

＝産学連携によりガス漏れ検査装置を開発したベンチャー企業＝



- 夢を持ってその夢を実現する熱意が重要。
- 面接によって熱意のある弁理士と出会えたことが、特許取得の大きな味方。
- 技術力と市場性の高評価が知財担保融資へつながる。

1. 部下への教えを自ら実行してベンチャー企業を設立

平成13年に設立した株式会社エムテックは、産学連携によって開発した基本特許をベースに、ガス漏れ検査装置「セーバープロ」を開発したメーカーである。ニッチトップの研究開発型ベンチャー企業の強みを生かしながら、事業を展開している。

有馬社長は、ガス関連会社で都市ガス、プロパンガスのガス漏れ検査を行っていた。当時のガス漏れ検査は、旧態依然の機器を使用して、検査員の経験と勘に頼っていた。検査に当たっては、気温の影響を受けるため、夕方以降の検査ができず作業効率も悪かった。有馬社長は、この作業を自動化できないかと考えて、社内提案するが受け入れられなかった。そこで、部下に対して「夢を持ってその夢を実行しよう。」と常々言っていたことから、一念発起して起業化することにした。

ベンチャー企業の設立に当たり、くまもとテクノ産業財団に相談に行き、財団の研究室に入居を勧められた。また、熊本県の出資制度を活用して1千万円の資本を注入した。これが対外的な信用力となっており、大手メーカーとの交渉で大きな武器となっている。

立ち上げ当初から産学連携にも力を入れている。製品に対する大学の評価があれば売れるだろうと、財団から紹介を受けて熊本大学を訪問した。熊本大学はこの技術に興味を示し、共同研究を開始した。開発の途中で自動化の他に温度補正機能がなければ売れないことが調査により分かり、そして、平成15年に温度補正機能付ガス漏れ検査機「セーバープロ」の開発に成功し販売を始めた。この研究成果は、日本をはじめ海外でも特許を取得している。

2. タイムリーな支援機関の活用と自社技術を理解する弁理士の確保

起業する数か月前の平成12年、熊本県に知財相談室ができたことを新聞で知り相談に行った。特許流通アドバイザーが相談に乗り、開発中の装置の社会貢献度や権利取得の可能性等について細部にわたってアドバイスを受けた。これが知財活動に取り組むきっかけになったという。それまでは、全く特許について認識がなく、特許出願中というだけで「すごい発明なんだ。」というレベルであった。この出会い以降、製品開発時には特許戦略を考え、自社製品の保護を図るとともに優位性を保つためには、特許権や商標権はとても重要であるという認識になったと有馬社長はいう。

権利を活用してビジネスを有利に展開するためには、共同開発等の成果の確実な権利化が必要であるとの認識から複数の弁理士と面接を行った。その中で「有馬さんのビジネスのためになる権利取得を提案していく。」と声をかけてくれた弁理士に感銘し、会社設立当初からの長い付き合いとなっている。同社の技術に対する理解度が高く、意思疎通が十分に図られていることから、知財活動をサポートする強い味方になっている。

3. 特許権を取得することによって大きな信用を得る

中小企業の悩みは、開発資金の調達である。地元の金融機関が、同社の技術力や特許製品の市場性を高く評価してくれたことから、知財担保融資が受けられた。この融資により新製品の開発が進められたことが、同社の飛躍へとつながっている。起業5年後には、特許活用企業として知財功労賞を受賞している。特許制度120周年の節目の年で注目度も高かったことから、全社員のモチベーションアップや開発力のある企業であることをPRするよい機会になったという。特許権を取得することによって、中小企業ながら大きな信用を得ることができたと改めてその効果を実感している。

ガス保安の更なる向上のために、ガス関連大手メーカー・大学・研究機関と共同で市場が望む製品開発に取り組むとともに、海外展開を視野に入れて諸外国において権利化を図っている。東日本大震災後には、被災地にガス漏洩検査機を無料で貸し出すなどの地域貢献活動を行った。

株式会社エイムテックの製品例

セーバープロスマート



▶ 主な特徴

- ・圧力計測器と7インチタブレットで構成
- ・電子的にチャート紙を表示
- ・夕方の計測も安心、温度補正機能付
- ・最大、1週間計測が可能
- ・6種類の計測モードを準備
- ・タブレットに最大400件の計測データ保存
- ・計測データのメール送信機能
- ・パソコン上でデータ管理

◎会社概要

名称及び代表者	株式会社エイムテック 代表取締役社長 有馬 慎一郎		
本 社 所 在 地	熊本県熊本市東区戸島町920-3（熊本コスモ工業団地）		
資 本 金	6,100万円	従 業 員 数	20名
事 業 内 容	電子応用機器の研究開発・製造・販売・メンテナンス		
電 話 番 号	096-274-5130		
U R L	http://www.aim-tech.co.jp/		